

# 拡張 DM エディタ バージョン 8.1.0 更新記録

2015/11/02  
有限会社ジオ・コーチ・システムズ  
<http://www.geocoach.co.jp/>

## 1. 図郭を要素に合わせる

「座標値」パネルのメニュー「最も近い線上に移動」で、移動先の相手の線分上に点を挿入していましたが、相手の線が複数の要素が重なっている場合、一つの要素にしか点を挿入していませんでした。

相手側に複数の要素が重なっている場合、その複数の要素に点を挿入するように修正しました。

移動する点と移動先の表示位置が Z>-999.9 と Z=-999.9 で区別します。

データ	注記	要素	座標値		画像	
番...	...	勾配%	標高差	水平...	Z座標	X座標
1					487.9000	-200566.4
2	↗	11.495	2.1000	18.2681	490.0000	-200559.0
3	↗	8.368	2.0000	23.9002	492.0000	-200549.2
4	↗	15.150	4.0000	28.2003	496.0000	-200538.3
5	↗	15.150	4.0000	28.2003	532.1	
6	↗	15.150	4.0000	28.2003	530.9	

[点]参照点にする  
[点]最も近い線上に移動 ←  
[点]最も近い点上に移動

## 2. 点-注記チェック

メニュー[チェック 2]-[点-注記チェック]に、注記(E7)の中にある点(E5)のリストアップを追加しました。

点-注記チェック

対象の点(E5)

7311 標石を有しない標高点

7312 図化機測定による標高点

分類コードで指定

参照の注記(E7)

8173 標高注記

分類コードで指定

対象から参照までの最大水平距離(メートル)

点のZ値と注記の標高値の差の最大値(メートル)

チェック内容

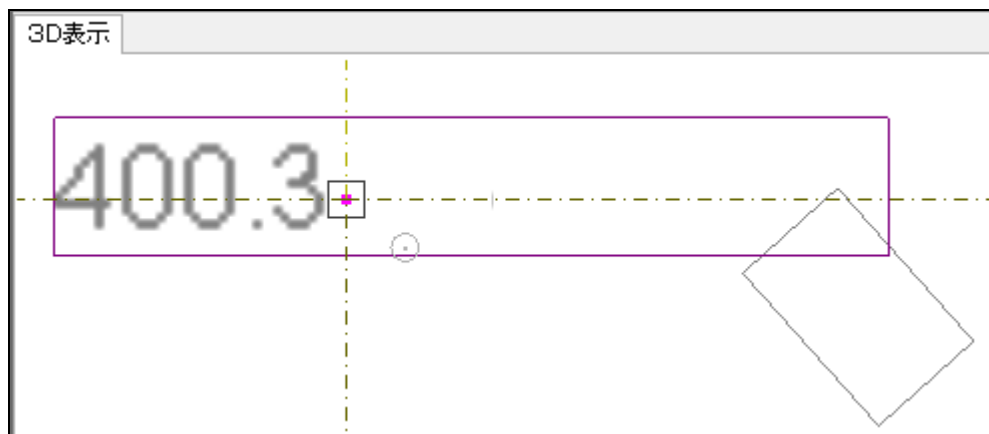
対応している注記がない点をリストアップ

対応している点と注記をリストアップ

注記の矩形範囲の中に入っている点 ←

### 注記の矩形範囲の中に入っている点

注記(E7)の文字数・字大・字間がなす矩形の中に、点(E5)が入っている場合、その点(E5)をリストアップします。・(E5)が矩形の線上にある場合は対象外です。このチェックは「対象から参照までの最大距離」「点のZ値と注記の標高阿多の差の最大値」は参照しません。



### 3. 要素リストアップ

[ツール]-[要素リストアップ]の処理に「注記の字隔を変更する」を追加しました。

要素リストアップ

データタイプ

E1面  E2線  E3円  E4円弧  
 E5点  E6方向  E7注記  E8属性

分類コード

すべての分類コード

分類コードを選択(1) 選択(1)...

分類コードを選択(2) 選択(2)...

分類コードを選択(3) 選択(3)...

砂防基盤地図の3次元取得項目

2次元、3次元

2次元と3次元すべて

3次元

3次元で標高値が全て0.0

3次元で標高値が-999より高い

3次元で標高値が-999より高く、0.0より低い

3次元で標高値が-999より高く、全て同じ

3次元で標高値が-999より高く、一部異なる

3次元で標高値が-999以下

2次元

3次元の標高値

m以上  m以下

図形区分

すべての図形区分

非区分(0)

射影部の上端(11)

射影部の下端(12)

表現補助データ(99)

表現補助データ(99)以外

0,11,12,99以外

定義以外

指定

間断区分

すべての間断区分

間断区分=0

間断区分=1

間断区分=2~9

面(E1)線(E2)の点数

点数は問わない

2点

3点以上

面(E1)線(E2)の長さ・面積

長さは問わない

長さを指定(2D)

長さを指定(3D)

長さの最小値  m

長さの最大値  m

面積は問わない

面積を指定(2D)

面積  m<sup>2</sup>未満

始点と終点が同じ座標

その他の条件(1)

精度区分(上位桁)

精度区分(下位桁)

取得年月

更新の取得年月

消去年月

その他の条件(2)

注記の数値の小数点以下桁数が1

取得年月

以上  以下

消去年月が空白か0以外

要素識別番号=

異なるZ値がある(水平ではない)面・線

Z値が全て同じ(水平な)面・線

注記が縦書き

注記の文字列(全部一致)=

注記の文字列(一部一致)=

注記の字大=

処理

リストアップ(順次)

リストアップ(長い方から)

リストアップ(高い方から)

面(E1)を線(E2)にする

円(E3)を点(E5)にする

点(E5)を方向(E6)にする

方向(E6)を点(E5)にする

分類コードを変更する

図形区分を変更する

精度区分(上位桁)を変更する

精度区分(下位桁)を変更する

間断区分を0にする

間断区分を1にする

間断区分を2にする

取得年月を変更する

更新の取得年月を変更する

消去年月を変更する

注記の字隔を変更する

注記の線号を変更する

2次元化する

3次元化する Z値=

標高値=-999mで3次元化する

標高注記(E7)を3次元化する

標高値を10分の1にする

標高値を10倍にする

点列の順序を反転する

該当要素を削除する

レポートパネル出力

OK キャンセル 設定を保存 設定を開く

### 注記の字隔を変更する

該当する注記の字隔を指定された値(1 から 99999 まで)に変更します。

## 4. ポリゴン内外削除

メニュー[砂防基盤図]-[ポリゴン内外削除]で、チェックボックス

注記(E7)は削除しない

を

注記(E7)(8173 以外)は削除しない

に変更しました。

このオプションが ON の場合、従来は全ての注記(E7)を残していましたが、バージョン 8.0.19 からは、分類コード=8173 の注記は削除します。

ポリゴン内外削除

参照ポリゴンの分類コード  
分類コード=9999 個数=1 接合線

処理

ポリゴンの確認表示のみ  
 ポリゴンの外側を削除する  
 ポリゴンの内側を削除する

オプション

データタイプが面(E1)と建物はポリゴン外を残す  
 注記(E7)(8173以外)は削除しない  
 レポートパネル出力

OK キャンセル 設定を保存 設定を開く